

産業能率大学 情報マネジメント学部

国際文化比較	履修年次	1	
	単位	2	
友寄 隆哉、清水 正博	配当期	後	
	授業方法	講義 / 対面	
授業の内容			
<p>[授業の概要]</p> <p>本科目の前半に取り上げる「欧州地域」では、多様性と共通性を自然環境・人種(民族)・国家・文化・ファッション・宗教・社会という側面から日本と比較をしながら考える。一口に欧州といっても多様な民族や社会で構成をされている。他方、日本との違いはそこに属する国々が地づくきであるという地理的事実である。ミュンヘンからコンパスの針で 1500 キロの半径で円を描くと主要な都市はその範囲内に入る。これは日本では北海道から大阪の距離とほぼ同じである。そこに様々な歴史があり、その理解を深めることを目指す。</p> <p>後半は、世界の人口の約 6 割を有する「アジア地域」の主要国の歴史、政治、経済、文化について理解を深め、各国の抱える主要な問題についての解決策を考える。この学びを通して、問題を発見し、解決へ向け情報を収集、分析、活用し、解決案を策定するという一連のマネジメント技法を習得し、グローバル市民(地球市民)としての自己の立ち位置を確認する。</p> <p>前半の「欧州地域」、後半の「アジア地域」ともグループワークを行いその内容を発表する。</p> <p>なお、授業外学習の指示・提出は manaba で行う。</p>			
この科目の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・価値観や文化の異なる人々と共生していくために、多様な文化を理解し、異なる価値観や意見を尊重できる視点を持つことができる。 ・世界の各地域(欧州、アジア)の事情について知識を深め、より広い視野で自己の意見を形成することができる。 ・グローバル市民(地球市民)としての自己認識を持つことができる。 			
成績評価の方法			
授業出席(特にグループワークへの参画態度)、授業外学習、提出課題、定期試験の結果を総合的に評価する。			
週	授業項目	週	授業項目
1	オリエンテーション	8	前半筆記テスト
2	欧州諸国の歴史的構成と変化(統治形態)	9	アジアの諸国の独立 I
3	欧州諸国の料理とスポーツ特性	10	アジアの諸国の独立 II
4	欧州諸地域の理解 I (グループワーク)	11	アジア諸地域の理解 I (グループワーク)
5	欧州諸地域の理解 II (発表)	12	アジア諸地域の理解 II (発表)
6	欧州諸地域の理解 III (発表)	13	アジア諸地域の理解 III (発表)
7	前半筆記テスト	14	アジア諸地域の理解 III (発表)